

1月1日

発行:柿生アルナ園 広報委員会

川崎市麻生区上麻生 5-19-10

TEL.044-987-0021

理事長挨拶

新年あけましておめでとうございます。

郷土柿生の地に、子供の健やかな成長を願い昭和四一年に開園された、鈴保福祉会柿生保育園もこの四月で五九年目に入り、次年度には節目の六〇周年を迎えることとなります。一方で、昭和六一年一〇月に、お年寄りの施設として誕生した当施設、特別養護老人ホーム柿生アルナ園も開園後三九年目を迎えております。長きにわたり地域の社会福祉活動にいそしんでこられたのも、ひとえに、地域の住民の皆さん、これまで係わりのあったご家族の皆さん、そして何より、お年寄りのために協働して介護支援に携わってきた法人施設職員の努力の賜物であると感謝しています。

当施設では、介護保険法に謳われている「自立支援」の理念に基づき、個々の入所者の特性に合わせた「パーソン・センタード・ケア」の実践を心がけています。ケアする者とされる者との相互作用であるケアが、その実は対等になりにくいことを、ケアする側が常に意識し、*「共感」に基づいたケアの実現を目指して、職員一同日々努力して参りますので、ご支援・協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

末筆ではございますが、本年が皆様にとって、希望と喜びに満ちたものになりますように、皆様のご成功とご繁栄を心からお祈り申し上げます。

社会福祉法人鈴保福祉会 理事長 鈴木 聰

*「私は、利用者たちに助けられて生きるということの奥深さや不思議さを教えられている。そして、(中略)自分の未熟さを思い知られるとともに、これから先どんな老いを迎えるのかワクワクするのである。だから、私はこれが好きなのだ。」
(六車由美『驚きの介護民俗学』より)

新年の挨拶

時がたつのは早いもので、4月に赴任してきたのがつい先日のように感じるほどです。本年は已年、私は年男となります。

△△は脱皮を繰り返す事で大きく成長するとされます。私も一皮むけて新たな可能性が開ける成長の年となりますよう何事にも粘り強くチャレンジしていこうと思います。『選ばれる施設づくり』を目指して邁進してまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

副施設長 落川 晃央

年が明ける度に新たなことに挑戦をしようと思い立ちますが、なかなか実行に移すが難しいと毎年実感しています。アルナ園の理念に「日々新たな気持ちで」とあります。1日1日を、新鮮な気持ちで、挑戦していくことで、理念に沿った行動を起こせるのではないかと思っています。生活されている、入居者の笑顔で健康に生活出来るように、新たな気持ちで、仕事をさせて頂きたいと思います。

介護長 瀧澤 幸憲

新たな年を迎え、今年はどんなことにチャレンジしようかワクワクしています。日々、色々な相談を受けていると、皆様の願いは、「自分らしく生活を続ける」ということなのではないかと感じています。そこで、今年度は、「いつまでも元気で自分らしく」ということを、地域包括支援センターのモットーとし、地域の皆様に貢献できるよう、日々精進していきます。

地域包括支援センター長 玉野 明美

特養のイベント

◆敬老会【九月十三日 三階デイルームにて開催】

敬老を祝して、青葉コーラス様の美しい合唱を披露して頂きました。皆さんご存じの曲目も多く、リズムに合わせて手拍子し、大きな歓声も飛び交い各々楽しめられておりました。

また、百歳以上のご長寿の方や普段から職員のお手伝いを積極的にしてくださっている皆様へ、職員一同感謝の気持ちを込めて『感謝状』を送らせて頂きました。いつもありがとうございます。

どうぞ、これからも末長くお元気で、アルナ園での暮らしを楽しんでください。私たち職員も暮らしをサポートしてまいります。



青葉コーラスの皆様

ありがとうございました。



感謝状を贈らせていただきました。

皆さんいつまでもお元気で！



手を振りながら大きな歓声で

盛り上がりました！



ごちそうは“ひつまぶし”

◆昼食会【十月二十一日 一階フロア及び階食堂にて】

今年の秋の昼食会は職員による“一人羽織”を楽しんでいただきました。4月から異動してきた職員の企画で、目で見て楽しめる内容を意識したこと。台本はあえて準備せず、演目そのものはぶつけ本番だったとか……。臨場感溢れるリアルな表情、様々なリアクションに利用者の皆様の目は釘付けになりハラハラドキドキ楽しまれていました。昼食は握り寿司を堪能していただきました。



特養職員による迫真的演技？



握り寿司をご堪能される



多くの人を魅了しました

◆アルナ喫茶【十一月八日二階食堂にて開催】

今年もジャズバンドの方々が来園してくれました。「シクラメンのかほり」等をジャズティリストでのサックスの生演奏をバックに、店内はとても雰囲気があり、ゆったりとした空間に……提供されたケーキや飲み物はいつも以上に美味しく感じていただけたのではないか。どうですか。

参加された利用者の中では、「ケーキ美味しいかったー」「こんなのは初めて」と去年も参加された方も新鮮な



ジャズ演奏を聴きながら喫茶店さながらの雰囲気です。



多くの人を魅了しました

特養のイベント

◆アルナ祭り【十一月八日 三階デイルームにて開催】

和楽様による演奏。大正琴とキーボードとドラムという、

異色のスリーピースのバンドです。「ブルーライト・ヨコハマ」、「二人でお酒を」等披露して頂きました。生演奏は迫力が違います。

演奏楽曲を聞いていた入居者の中には、若い頃を思い出されたようで、涙が止まらない方もいらっしゃいました。



馴染みのある曲目が多く、皆さんも手拍子で応援されていました。



普段来られない3Fでの開催に、わくわくされていました。



和楽様による演奏。曲間の色々なお話を利用者を惹きつけて下さいました。

◆クリスマス会

【十二月二十四日 各食堂、フロアにて】

毎年アルナ園にはサンタクロースとトナカイがやってきて、利用者の皆さんにクリスマスのプレゼントを届けに来園します。たくさんの方々へプレゼントを届けるサンタさん。見慣れない赤い衣を

まといし白髭の男に興味津々の皆さん。握手を求める方、手を振る方、プレゼントをさつそく開けてみる方と反応も様々で、大変盛り上がりました。

『サンタさんありがとうございます！』

その後は、クリスマスソングを聞きながら、サンタさんとトナカイの形をしたケーキの登場。そのおいしさに皆さまご満悦の様子でした。洋菓子店シャトレーゼさんのケーキだったこともありとても好評でした。

夕食前は装いもかわり、クリスマスキャンドルを灯して幻想的な雰囲気の中、アルナ園合唱隊による歌の披露がありました。最後は「シャンメリー、ノンアルコールのビールで「メリーカリスマス！」の掛け声で乾杯し、聖夜のひと時を過ごしました。



素敵眼鏡でハイポーズ！



プレゼントが何か気になります！



サンタさんからのプレゼント！